

令和7年度山形市西藏王放牧場の入牧について

山形市では、酪農家側の飼育作業を削減し、経営の安定を図ることを目的に、山形市西藏王放牧場で牛をお預かりしています。

この度、山形市の農家1戸と天童市の農家2戸からホルスタイン（乳用牛）と黒毛和種（肉用牛）の放牧を開始することに伴い、次の通り入牧作業を実施します。

つきましては、取材していただきますようお願いいたします。

1 日 時

令和7年5月9日（金）

（1）牛体検査 午前10時～

（2）入牧開始 午前11時～正午

（牛体検査終了後に入牧しますので、時間は前後します。）

2 場 所

山形市西藏王放牧場（山形市大字土坂地内）

3 当日の入牧予定頭数

18頭 （乳用牛10頭、肉用牛8頭）

【本件に関するお問い合わせ】

〒990-8540 山形県山形市旅籠町二丁目3番25号

山形市役所 農林部農政課 担当：農産係 奥山・齋藤

TEL 023-641-1212（内線432）

FAX 023-641-1865

E-mail nousei@city.yamagata-yamagata.lg.jp

令和7年度西藏王放牧場入牧式について

1、放牧する意義

令和7年5月9日（金）に入牧する牛は、約6ヵ月の間西藏王放牧場で過ごすことになります。入牧する牛は主にお母さんになる前の牛で、新鮮な牧草をたくさん食べ、山を歩き回ることによって、足腰が鍛えられ、丈夫な体を作ってもらおうというのが一番の目的となります。

また放牧場に牛を入牧させることにより、酪農家における飼養管理や糞尿処理などの飼育作業の削減により、他の作業に力を入れることができるなど、経営の安定化を図ることも目的としております。

2、放牧の効果

- （1）十分な運動により、骨格、心臓、肺臓が丈夫になる。
- （2）牧草を十分に食べて消化器の発達が良くなるとともに、体重が増加する。
- （3）農家の育成に係る管理労力が節約される。

3、放牧場の概要

- （1）総面積 81.4ヘクタール（うち草地面積48.0ヘクタール、牧区数16）
- （2）標 高 600～820メートル

4、令和7年度放牧について

預託農家数 3戸

放牧予定頭数	46頭	乳用牛	16頭（山形市農家 1戸）
		肉用牛	30頭（天童市農家 2戸）

5月9日入牧予定頭数	18頭	（乳用牛 10頭）
		（肉用牛 8頭）

5、令和7年度実績

- （1）放牧日数 169日間（令和6年5月10日から10月25日まで）

- （2）1日あたり平均増体重

①乳用牛 487g ②肉用牛 462g

- （3）1頭あたり平均増体重

①乳用牛 65kg ②肉用牛 56kg